

今月の北海道文学

025.10.27

歷史·文化

札幌市



田村はまだか

朝倉かすみ(著) | 光文社

ススキノのスナックで振り返る、同級生5人の人生模様

道路から始まった北海道文学の旅は、特急「おおぞら」で一気に札幌へ。車窓には釧路湿原の雄大な自然が広がり、次第に都市化された風景へと変わっていきます。終点「札幌駅」から、今回の作品の舞台・ススキノへ。地下鉄に乗り換えるのもいいですが、札幌グルメを満喫するために徒歩でお腹を空かせましょう。駅前からススキノまでは地下歩行空間（チ・カ・ホ）や地下街を歩けば、20分ほどで着いてしまいます。

今回紹介する作品は『田村はまだか』。同じ田村さんならドキッとするタイトルですね。小学校の同窓会に集った5人が、3次会の会場となったススキノのスナック「チャオ!」で同級生の田村を待つ話。田村との思い出話、花を咲かせながら、40歳になるそれぞれの人生を振り返ります。仕事や生活の愚痴、悩み、迷い……なかなかまいかない5人の人生に、40歳を超えた私自身も共感できることが多いです。

自分で選んだ道とはいえ、常に不安や悩みが付きまとう。いろんなことをやめたいのに同時にやめたくないとも思ったり、そんな矛盾だらけの気持ちを抱えつつ、自分なりに考えて、納得させて、もう1日頑張ろう、その繰り返しの日々。些細なことで落ち込んで、また些細なことで元気を取り戻す……そんな私のことは置いておいて、この5人の人生に大きく関わってくるのが田村の言葉や強さです。どう関わってくるのかは読んでのお楽しみ。ページをめくるうちに、気づけば私もスナック「チャオ」で田村を待っているような気持ちに。果たして田村は来るのか、来ないのか。

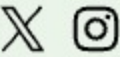
ブックライブで購入する

筆者



小笠原 光 #三省堂書店 札幌店

1983年生まれ、釧路市出身。就職や異動などをきっかけに釧路(道東)→旭川(道北)→札幌(道央)と、北海道を東から西へ旅をしてきた。長年にわたって接客業に携わる中、「興味のなかった分野に身を置いたらどうなるか」という好奇心から書店員の道へ。読書が特別好きだったわけではないが、今はどっぷりとハマっている。好きな絵本は「パンどろぼう」シリーズ。店舗では専門書の売場を担当している。



三省堂書店 札幌店

住所	北海道札幌市中央区北5条西2丁目5 JRタワー札幌ステラプレイス5F  Google Map
電話番号	011-209-5600
営業時間	10:00～21:00
定休日	年中無休(元日を除く)
アクセス	JR札幌駅直結徒歩3分

今月の北海道文学 記事一覧はこちら

>

この記事をシェアする



北海道ヒストリア | ほっかいどう酒蔵探訪記 | ソンコdeソンコ | 未来へつなぐ | 駅弁カイトイ新書 |
北海道エリアセクション4 | 音声で楽しむ北海道の列車旅 | 今月の北海道文学 | 過去冊子のアーカイブ

列車情報

列車運行情報 (JR北海道TOPページ) | 運賃・乗換・時刻検索 | 路線図 | えきねっと (おトくなきっぷの情報) | 北の大地のスケールガイド